

教材3 「有権者の意識を知って、投票率向上の方策を探る」

私たちは、日頃、人との話し合いや討論を通して多様なものの見方や考え方のあることを知り、それらを基に自分の思いや考えを整理し、方向づけたりしています。また、身近な課題や提言等に対して、その重要性や必要性の度合いに応じた優先順位をつけ、客観的に整理しながら合意を形成していくこともあります。まさに「ランキング」や「ダイヤモンドランキング」の手法を活用しているということができるよう。ランキングの効用は、他者の考えを理解するとともに、多様な見方があることを理解することです。そして集団の合意形成を図るためのスキルやノウハウを培うトレーニングになります。

この教材は「ランキング」や「ダイヤモンドランキング」の手法を用いて、有権者（各年齢層）の選挙に対する意識や投票行動を探るとともに、投票率の向上について考え、実践活動へつなげていくことをねらいとしています。

1 趣旨

成人を対象に、政治・選挙に対する意識や投票行動の実態を知り、投票率向上の方策を探るとともに地域活動への参加意欲を高める。

2 テーマ

「投票率向上の方策を探る」

— 「多くの意見を聴き、自分の考えをまとめよう」 —

3 所要時間

2時間程度

4 演習要領

(1)投票行動の実態を探り、投票率の向上を図ろう！

示された15個の、政治・選挙に関する意識調査の「投票を棄権した理由」について、先ず各人で「棄権した割合が高かったと思う」順にランク付けをし(ランキング)、次いでグループとしての順位をまとめ(ダイヤモンドランキング)、全体会での発表、討論に臨みます。

(2)準備する物

①資料

- ・資料1「年齢別投票率」21頁
- ・資料7「意識調査・選挙を棄権した理由(年齢別)」43頁

②ワークシート

- ・ワークシート3「ワークショップ作業メモ」44頁
- ・ワークシート4「ランキング・選挙を棄権した理由」46頁
- ・ワークシート5「ダイヤモンドランキング・選挙を棄権した理由」47頁
- ・ワークシート6「月面の危機」48頁
- ・ワークシート7「地域課題」49頁

(3)構成

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| ①アイスブレイク | (10分) | |
| ②課題、内容、資料、進め方等の説明 | (15分) | |
| ③活動 | (50分) | |
| ④発表会 | (25分) | |
| ⑤評価 | (10分) | |
| ⑥学習のふりかえり、まとめ | (10分) | 計2時間 |

(4)進め方

①アイスブレイク(10分)

アイスブレイクで全体の雰囲気や和らげ、参加意欲を高めます。

②課題、内容、資料、進め方等の説明(15分)

「ランキング」、「ダイヤモンドランキング」の理解と活用、作業手順について説明します。

③活動(グループ内50分)

ア グループ分けと役割分担(10分)

6人程度のグループに分かれ、自己紹介の後、司会者(グループ)と発表者を決めます。

イ 個人順位・ランキング(10分)

自分のこれまでの投票経験や知り合い・隣人等の投票行動を参考にしながら、下記の「選挙を棄権した理由」15項目について、「意見(棄権理由)」が多かつ

ワークシート3を使用します。

た」と思う順に、その記号をワークシート4「ランキング・選挙を棄権した理由」の個人順位欄に記入します。

選挙を棄権した理由

- a 仕事があったから
- b 重要な用事(aを除く)があったから
- c 病気だったから
- d 体調がすぐれなかったから
- e 投票所が遠かったから
- f 面倒だから
- g 選挙にあまり関心がなかったから
- h 政党の政策や候補者の人物像がよくわからなかったから
- i 適当な候補者も政党もなかったから
- j 私一人が投票してもしなくても同じだから
- k 選挙によって政治はよくなると思ったから
- l 今住んでいるところに選挙権がないから
- m 天候が悪かったから(暑すぎた、雨だったなど)
- n その他
- o わからない

ウ グループとしての順位・ダイヤモンドランキング(10分)

個人順位を発表し合った後で、グループ内でそれぞれの順位や理由、投票率の向上策を提案しあいながら、グループとしての順位をまとめ、ワークシート5「ダイヤモンドランキング・選挙を棄権した理由」に記入します。ただし、10位以下になると思う項目をはずし、9個記入します。

一人一人が決めた順位と対比させながら、グループとしてのランキングを決定する際の協議が、感情的にならないように配慮します。

エ 実際順位との比較及び意見交換(20分)

グループ別ランキングを発表し合った後で、過去の実績順位(意識調査結果資料7)と比較し、自分たちのグループのランキングとの差異について、感想や意見を出し合います。

次いで、自分の経験及び近隣住民の選挙への取り組みや投票率の現状等から考えて該当すると思われる項目に注目しながら(○を付けるなど)、投票率の向上を図る方策について意見交換をします。

各グループに与えられた
発表時間内で終える工夫
をします。

④発表会(25分)

発表・質疑応答(1グループ 5～7分程度)

⑤評価

助言者による評価に加え、参加者個々の、さらには参加者相互の意見交換による評価も大事にしたいものです。

⑥学習のふりかえり、まとめ(10分)

ワークショップの結果(現象)ばかりに注目するのではなく、全体でのふりかえりを行い、共有事項の確認を忘れないようにします。

- ・有権者は、「投票率の現状」をどのくらい理解しているのだろうか？
- ・「投票に行かない理由」からどんなことが分かり、どんな対策が必要なのだろうか？
- ・選挙(投票)や「明るい選挙推進運動」の意義と社会的使命等を理解し、進んで投票するとともに、家族や知人・友人等へ広く投票を働きかけるなどの約束をします。
- ・さらに、投票率を高めるために話し合った方策を、今後の活動に活かしていくことを確認し合います。
- ・何のための「ランキング」、「ダイヤモンドランキング」への取組みだったのかも確認します。
- ・ファシリテーターがまとめます。
- ・お互いに、それぞれの協力に感謝し合って、終了します。

(5)役割

- ・ファシリテーター(全体指導者)
 - ・司会者(グループでの進行係)
 - ・発表者
 - ・参加者
 - ・助言者
- ※教材1を参考にしてください。

5 研修の充実

○棄権した理由

棄権した理由を年齢別に検討すると、より具体的になります。

○カード化

ランキングのためのキーワード(ここでは棄権理由の各項目)が、予め決められている場合は、キーワードをカード化し、切り取って貼れるようにすると作業が楽しくなります。

○ランキングとダイヤモンドランキングの特徴や活用上の留意点

この教材では、個人のランキングは「ランキング」の手法、グループのランキングは「ダイヤモンドランキング」の手法を採用しました。その理由は、参加者に2つの手法を理解して欲しいことと、もう一つは、後者も「ランキング」手法にすると、メンバー構成やグループの人数が多い時などにランク付けに時間がかかり過ぎることを懸念し、比較的まとめやすい「ダイヤモンドランキング」を活用しています。

○ランキングについて

この教材では、「選挙を棄権した理由」を尋ねる意識調査で、回答の多かった選択肢の順を、参加者に考えてもらう方法を取っています。ランキングの一般的な使用方法では、参加者が自分にとって重要・必要だと考える順位をつけ、その理由等を整理し、グループで意見交換、討議する方法が取られます。重要だと考えるものから順位をつけることによって、課題に対する優先度を明らかにすることができます。ランキングする素材として、映像資料やブレインストーミングで出されたアイデアなども使えます。

ワークシート6と7を使います。

🎮 ゲーム「月面の危機」

最初に「月面の危機」ゲームを試みると、研修への期待感が高まります。「ランキング」の感じをつかんでもらうとともに、「正解(あるいは結果)」のあるものがないものを確認することができます。このゲームは、アメリカのNASA(航空宇宙局)で開発されたグループ討論のゲームです。

回答作業に多くの時間をかけることが本意ではないことから、ワークシート6では「NASAの専門家であれば当然妥当な答えを出せるであろう」ことを、7「地域課題」の方は回答が得にくい例があることを理解できればいいこととし、意見をまとめることはしません。

〈資料7〉 意識調査・選挙を棄権した理由(年齢別)

選挙を棄権した理由	20歳代 (%)	40歳代 (%)	60歳代 (%)	平均 (%)
a 仕事があったから	39.3	20.6	16.4	27.0
b 重要な用事(aを除く)があったから	21.4	22.2	25.5	24.1
c 病気だったから	0	1.6	16.4	6.5
d 体調がすぐれなかったから	3.6	4.8	16.4	11.4
e 投票所が遠かったから	1.8	0	0	0.8
f 面倒だから	10.7	12.7	1.8	7.8
g 選挙にあまり関心がなかったから	17.9	17.5	10.9	14.9
h 政党の政策や候補者の人物像がよくわからなかったから	17.9	19.0	12.7	12.4
i 適当な候補者も政党もなかったから	16.1	23.8	14.5	18.4
j 私一人が投票してもしなくても同じだから	12.5	7.9	5.5	9.7
k 選挙によって政治はよくなるから と思ったから	16.1	9.5	10.9	10.8
l 今住んでいるところに選挙権がないから	1.8	0	0	0.3
m 天候が悪かったから(暑すぎた、雨 だったなど)	5.4	0	0	1.4
n その他	0	6.3	7.3	4.1
o わからない	1.8	0	0	0.5

(第22回参院選に関する意識調査 平成22年8～9月調査 明るい選挙推進協会)

<ワークシート3> ワークショップ作業メモ

グループ名 _____

氏名 _____

研修テーマ : 「投票率向上の方策を探る」

1 有権者(各年齢層)が選挙を棄権する理由を探る

①「ランキング」(個人順位)

自分のこれまでの経験や隣人等の投票行動の様子から、自分が思う順位をメモしてください。

②「ダイヤモンドランキング」(グループ順位)

グループ内で話し合い、グループとしての順位をメモしてください。

③実際順位の発表

全体への回答(結果)を示すために、過去の実績順位をメモしてください。

④話し合い

これまでの個人順位、グループ順位、実績順位について、なぜ、異なった結果が出たのか、グループ内で話し合い、意見や感想をまとめてください。

1

2

3

2 有権者の投票率向上を図る方策は何か

「ランキングカード」(実際順位)のうち、自らの経験や隣人等の投票行動、投票率の現状等から考えて該当すると思われる項目に注目しながら(○を付けるなど)、有権者の投票率向上を図る方策についてグループ内で話し合います。

次いで、それらの対策を全体会で報告し合います。

私たちは、有権者の選挙に対する意識や実態をどのくらい理解していたのだろうか？

どうすれば、投票率の向上を図ることができるのだろうか？

その対応策を話し合い、グループとしての対策を提案しましょう。

1

2

3

①特に強調したいこと・提言したいこと(グループの「トップ提案」は何か?)

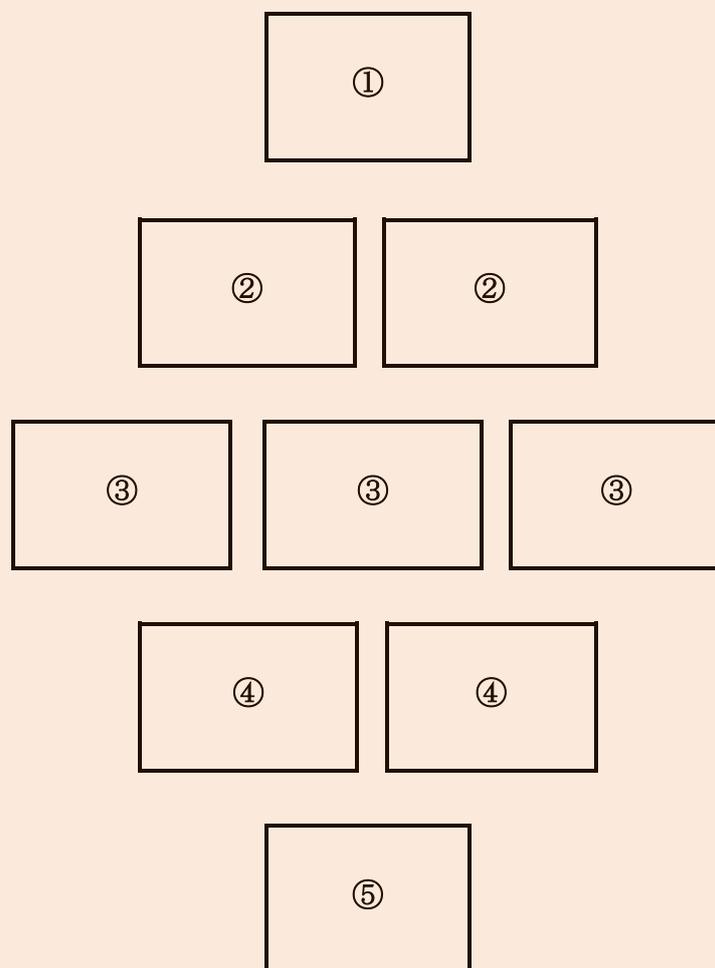
②有権者各年齢層の投票率向上に向けた決意など

☆A4判2枚

<ワークシート4> ランキング・選挙を棄権した理由(メモ用)

選挙を棄権した理由	個人順位	グループ 順位	実際順位
a 仕事があったから			
b 重要な用事(aを除く)があったから			
c 病気だったから			
d 体調がすぐれなかったから			
e 投票所が遠かったから			
f 面倒だから			
g 選挙にあまり関心がなかったから			
h 政党の政策や候補者の人物像がよくわからなかったから			
i 適当な候補者も政党もなかったから			
j 私一人が投票してもしなくても同じだから			
k 選挙によって政治はよくなれないと思ったから			
l 今住んでいるところに選挙権がないから			
m 天候が悪かったから(暑すぎた、雨だったなど)			
n その他			
o わからない			

〈ワークシート5〉 ダイヤモンドランキング・選挙を棄権した理由
(グループ順位)と(実際順位)で使用



「選挙を棄権した理由」(外したもの→10～15位)：

〈ワークシート6〉 月面の危機

「正解あるいは結果の得られる事例」

あなたは宇宙飛行士です。いま、あなたが乗っている月面車は、機械の故障で遭難しています。月着陸母船は、遭難地点から約300km離れた太陽の当たっている場所に到着していることは確認されています。

遭難したためにほとんどの機械は使えなくなりましたが、次の15品目だけは使えることが分かりました。

あなたが月着陸母船に到達するために、もっとも必要だと思われる品目から順に全部に順位をつけてください。

品名	個人	グループ
マッチ箱		
濃縮された宇宙食(固形)		
15フィートのナイロンロープ		
パラシュートの絹糸		
ポータブルの暖房器具		
45口径ピストル2丁		
粉乳1ケース		
100ポンドの酸素入りボンベ2本		
月の星座図		
救命イカダ		
磁石の羅針盤		
5ガロンの水		
発火信号		
注射器の入った救急箱		
太陽電池のFM送受信器		

〈ワークシート 7〉 地域課題

「正解あるいは結果の得にくい事例」

A町の地域青年団体は、年々団員の減少とともに、現在103人の団員の活動も不活発になり、解散の声さえ出ています。そこで、定期総会の際、不活発な原因を追究するため、リーダーに次の10項目を提示して話し合うことにしました。aからjまで全部について、あなたが不活発の原因だと思う順位をつけてください。

項目	個人	グループ
a 団員に、地域に奉仕する気持ちがうすい。		
b 過疎化により、都市への流出が多く、活動する団員がいない。		
c 目先の娯楽に心が奪われ、団体活動に魅力を感じない。		
d 他人に甘える気持ちが強く、リーダーまかせの団員が多い。		
e 団活動に魅力を失い、途中で退団してしまう者が多い。		
f 団員の減少に伴い、組織が広域化し活動が複雑で困難になった。		
g 青年団体活動の目的を理解していない団員が多い。		
h リーダーが若年化し、団員の要求を把握したり、リードができなくなった。		
i 自分たちのことだけに夢中で、地域課題を学んだり、解決しようという意気込みがない。		
j 仕事が多忙で、せつかく入団しても積極的に活動ができない。		